

保健福祉委員会

令和4年8月30日

1 報告事項

(1) インターネットを通じたWeb口座振替受付サービスの開始について 【資料】

(2) 生活支援体制整備事業について 【資料】

(3) 認知症総合支援について 【資料】

(4) 新型コロナウイルス感染症対策の状況について 【資料】

(5) 令和4年度特別対策インフルエンザ任意予防接種の実施について 【資料】

(6) 新型コロナウイルスワクチン接種の実績と今後の対応について 【資料】

2 その他

インターネットを通じたWeb口座振替受付サービスの開始について

1 概要

インターネットを使用したWeb口座振替受付サービスを新たに開始し、区民の利便性向上を図る。

2 経緯

現在千代田区における口座振替の受付は、主に口座振替依頼書を使用する方法で行っている。

コロナ禍も含めた昨今の時代の流れの中で、

- (1) 来庁不要で24時間365日登録ができること
- (2) ペーパーレス・ハンコレスの要望が高まっていること
- (3) 口座振替登録が即時に完結すること

等をふまえ、インターネットを使用したWeb口座振替受付サービスを導入する。

3 登録方法

区民がパソコンやスマートフォンからWeb口座振替受付サービスにアクセスし、利用者情報、口座情報等を入力することで、口座振替登録を行うことができる。

4 対象となる公金

- (1) 国民健康保険料
- (2) 後期高齢者医療保険料
- (3) 介護保険料
- (4) 特別区民税・都民税
- (5) 保育料

5 利用開始日

令和4年10月11日

6 周知方法

広報千代田9月20日号、千代田区ホームページ他

生活支援体制整備事業について

1 生活支援体制整備事業について

生活支援体制整備事業とは、「地域の力で高齢者の生活を支えるしくみ」の構築のため、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、企業・大学等の地域で活動する様々な社会資源を活用しながら、地域の特性を活かした新しい生活支援サービスを構築していく事業である。 根拠法令:『介護保険法第115条の45(地域支援事業)第2項第5号』

2 新たな生活支援サービスの動向把握

新たな生活支援サービスについての需給動向を把握するため、令和2～3年度に下記調査を実施した。

(1) 区民への「日常生活での困りごと」に関する調査

- ① 高齢者約600名へのアンケート調査(回収率約50%)
- ② 民生児童委員へのヒアリング調査

(2) 事業者等に対する地域貢献に関する意向調査

- ③ 区内企業約3000社へのアンケート調査(回収率約10%)
- ④ 区内大学へのヒアリング調査

3 今後の対応

動向調査の分析から、区民からは「スマホやパソコン操作を教えて欲しい。」「ズームを使って、区の事業に参加したい。」などITに関する一定のサービス需要がある一方、区内事業者の一部からも「高齢者に対するIT教室を開催し地域貢献したい。」という供給シーズを確認できた。

このような需給双方のマッチングを図るため、スマホ未保持者向けのスマホ教室を開催して、高齢者のデジタルデバインド問題解決に取り組む。

4 今後のスケジュール

(1) 令和4年9月上旬

区と「高齢者向けIT教室」を無償で実施していただける事業者との間で「千代田区と事業者の連携による高齢者に対する生活支援等サービスの実施に関する協定」を締結予定。

(2) 令和4年9月下旬以降

第1回「高齢者向けIT教室」をかがやきプラザで開催。年末までに第2回目を開催予定。

5 その他

令和4年度から「かがやきプラザ相談センター」に配置している生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を中心に、今後も、地域で求められる新たな生活支援サービスのニーズの把握や分析等を進めていく。

認知症総合支援について

1 背景と目的

政府推計によると、2025年の日本では65歳以上の高齢者の5人に1人にあたる、約700万人が認知症になると言われている。

今後ますます増加が予想される認知症高齢者への理解と配慮、地域で共に暮らし続けるためのサポート体制の充実が求められている。

そこで、認知症サポーター講座の「ステップアップ講座」の充実を図るとともに、新たに「千代田区認知症サポート企業・大学認証制度」を創設することで、認知症に対する区民の理解を高めながら、認知症の人と共に暮らし続けられるやさしいまちづくりを推進していく。

2 認知症サポーター(ステップアップ)講座

- (1) 目的 認知症の「知識の習得」から一歩進んだ「地域で活躍可能な活動者」を養成する。
- (2) 対象 主に認知症サポーター養成講座を修了した人
- (3) 実施主体 区と社会福祉協議会の研修センターと共同実施
- (4) 学習内容 実践者の活動紹介、グループディスカッション、実習見学、報告会等
- (5) 開催時期 令和4年12月頃、計3回

3 認知症サポート企業・大学認証制度

- (1) 目的 認知症の方々の支援を実践している事業所や大学を認証し、地域で認知症の方を支えていく機運を醸成する。
- (2) 要件
 - ① 区内に本社若しくは事業所がある企業又は区内大学
 - ② 企業においては、認知症サポーター養成講座を受講した者が区内の事業所に勤務していること。大学においては、学内で定期的に認知症サポーター養成講座を開催していること。
 - ③ 認知症の人を支える具体的な取組みを実施していること
 - ④ 登録団体の責務として、日常の業務の中でゆるやかな見守りを実施し、異変を察知した場合は、すみやかに区に連絡するよう努めること
- (3) 内容
 - ① 認証された事業所・大学に認証ステッカーを交付。
 - ② 区HP、広報で取組みをPR。
- (4) 開始時期 令和4年9月以降

4 今後の取組み

ステップアップ研修受講者のうち、実際の活動につなげていける方を「オレンジサポーター」として登録し、その活動を継続的にフォローアップしていく。

新型コロナウイルス感染症対策の状況について

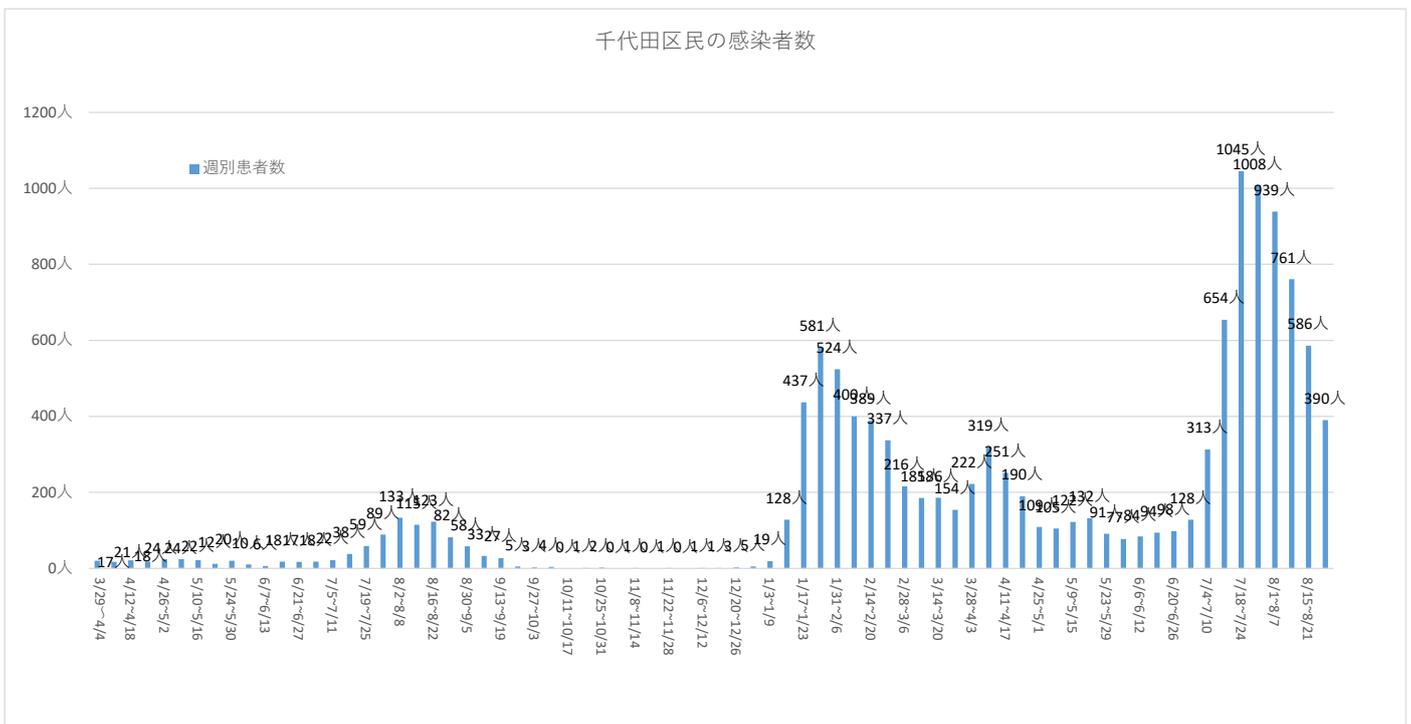
1. 発生状況および保健所体制について

令和2年1月16日に国内第1例が報告されて以降、令和4年8月29日までに国内感染は、18,353,000例を超える感染例が報告されている。第7波における医療ひっ迫を受け、東京都は8月初旬に抗原定性検査キットの配布(7万キット/日)と、自主検査による陽性結果について医療機関を介さずに登録し、支援を受けられる「東京都陽性者登録センター」を開設した。

区内の患者発生状況としては、7月から始まった感染拡大は、7月末をピークに減少傾向が見られている。令和4年8月29日現在、累計12,883例(住民基本台帳に基づく患者数)となっている。

保健所体制については、令和4年4月に構築した「保健所応援体制」のフェーズに基づき体制強化を図り、患者対応に遅れを生じることなく取り組んでいる。

2. 千代田区内感染者の推移(週報)



令和4年度 特別対策インフルエンザ任意予防接種の実施について

1 目的

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に重症化しやすい方の命を守るため。
- ・新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医療体制のひっ迫を防止するため。

2 対象者

接種日現在千代田区民であり、次の（１）～（３）のいずれかに該当する方で、医師が接種可能と認めた方。

（１）満60歳以上65歳未満の方

（昭和33年1月2日～昭和38年1月1日生まれ）

※令和4年12月31日時点の年齢で起算

※定期予防接種の対象者は除く

（２）妊娠中の方 ※出産後は利用不可

（３）19歳以上60歳未満の方（令和5年3月31日現在）のうち、
心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に障害があり、1級の障害者手帳を
持っている方

3 被接種者の自己負担額

無料

4 予診票発送予定日

（１）（３）の方には令和4年9月28日（水）頃を予定

（２）の方は、申請があった方へ個別発送

5 実施期間

令和4年10月1日（土）から 令和5年1月31日（火）

6 実施場所

千代田区内の指定医療機関 約150医療機関を予定

7 経費概算

令和4年度経費（予定）9,042,700円

※予算措置 予備費充用により対応する。

8 周知

- ・広報千代田9月20日号
- ・ホームページ、SNS 等による配信を予定

新型コロナウイルスワクチン接種の実績と今後の対応について

1 ワクチン接種の実績

(1) 接種実績

< 3 回 目 > 8月22日時点				< 4 回 目 > 8月15日時点			
年代	対象者	3回目 接種人数	接種割合	年代	対象者	4回目 接種人数	接種割合
65歳以上	11,613 人	9,869 人	85.0%	60歳以上	14,812 人	8,160 人	55.1%
60歳～64歳	3,188 人	2,493 人	78.2%	18～59歳	42,366 人	879 人	
50歳～59歳	9,684 人	6,895 人	71.2%				
40歳～49歳	12,119 人	7,878 人	65.0%				
30歳～39歳	11,225 人	6,587 人	58.7%				
20歳～29歳	8,454 人	4,409 人	52.2%				
12歳～19歳	4,089 人	1,670 人	40.8%				
計	60,372 人	39,801 人	65.9%				

8月22日時点			
年代	対象者	接種人数	接種割合
60歳以上	14,801 人	8,718 人	58.9%
18～59歳	42,363 人	1,113 人	

(2) 医療従事者、高齢者・障害者施設従事者の対応

千代田区の集団接種会場において、区民とは別に各従事者専用の接種枠を用意。接種には原則、接種券を必要とするが、在住する自治体で接種券発行に時間を要する場合もあるため、例外的に接種券無しでの接種も行っている。

また、医療従事者については、勤務先である病院での接種も可能なため、区においてワクチンを確保し供給している。

2 今後の対応について

令和4年8月8日付、国よりオミクロン株対応ワクチンを使用した追加接種を円滑に実施できるよう、各自治体は接種体制の準備を進めるよう事務連絡。

	国の方針	区の対応
接種対象者	<u>初回接種(1・2回目)を完了した全ての住民</u>	約 48,000 人が対象。
開始時期	今年の <u>10 月半ば以降</u>	引き続き、集団接種(3病院)、個別接種(約 60 箇所)で接種を行っていく。
ワクチン	オミクロン株(BA.1)と従来株に対応した <u>2価ワクチン</u> を使用	供給数や時期が現時点で未確定のため、安定的な確保に向けて、都に情報収集や別途依頼等を行っていく。
予算	<u>国が全額を負担</u> する方針	接種対象者拡大に伴う必要な経費を確保して対応する。
接種券の発送	10 月半ば以降、初回接種を完了した全ての住民を対象にオミクロン株対応ワクチン接種の開始を想定し、発送準備を進めること。	9 月下旬から 10 月上旬にかけての発送を想定。なお、接種間隔が今後、短くなる可能性もあるため、多少の前後や、回数を分けて発送することも今後検討。

スマートウォッチ等を活用した健康づくり 研究参加者募集のご案内

東京都健康長寿医療センターでは、健康管理が可能な機器を身に着けることによって、健康維持にどのような効果があるのか検証する研究を行っております。
本研究は、東京都福祉保健局と連携し、千代田区の支援を受けて実施しております。

限定!
500名

申込は
10月7日(金)
まで!

毎日の健康状態をチェックして、これからの健康づくりに役立てませんか？

参加者には、スマートウォッチとアンクルバンドをプレゼントします！
機器の使い方は、お渡しする際に分かりやすく説明しますし、
電話相談窓口もありますのでご安心ください！ご興味のある方は是非！

お渡しするデジタル機器ではこんなことが分かります！



腕に着ける**スマートウォッチ**では・・・

- ・ 活動量
- ・ 睡眠時間
- ・ 脈拍数
- ・ 皮膚温



足首に着ける**アンクルバンド**では・・・

- ・ 歩行速度
- ・ 歩幅
- ・ 歩調（歩き方のリズム）

健康状態はスマートフォンまたは健康レポートでチェックできます！



スマートフォンをお持ちの方は・・・

専用のアプリで様々な健康
情報をご覧いただけます。



スマートフォンをお持ちでない方は・・・

月に1度、計測したデータをまとめた
健康レポートでご確認いただけます。

**お願い
したいこと**

1. 裏面の申込先へ**電話またはFAXにてお申込みください。**
2. 後日お送りするアンケート調査へご回答ください。
3. 会場調査にご来場の上、体力測定等へご協力ください。
4. 説明会で配布する機器を毎日ご着用ください。

詳しくは裏面をご覧ください。

**ご参加
いただける方**

- ・ 今年度の「**こころとからだのすこやかチェック(※)**」にご回答いただいた方のうち、介護認定を受けていない方（令和4年3月末時点）全員に、お送りしております。
- ・ **本ご案内が届いた方は、どなたでもご参加可能です。**

※千代田区内に住所を有する65歳以上のうち、介護認定を受けていない方、または、要支援および要介護1・2の方（令和4年度は10月～3月生まれの方）に千代田区より、4月下旬にお送りしました。

お申込み方法は裏面をご確認ください。

研究の流れ

今回ご案内する本研究へ参加するかどうかは全くの任意です。またお申込み後、研究への協力をいつでも止めることができます。収集した個人情報は厳重に管理し、本研究のみに使用いたします。

1. 【10月7日(金)まで】電話またはFAXにてお申込みください。



- お申込みおよびお問合せは、東京都健康長寿医療センター研究所にお願いいたします。
- 調査に関する詳しいご説明は、お申込み後に郵送にてご案内いたします。



2. 【10月下旬頃】お申込み後に郵送するアンケート調査へご回答ください。



- スマートフォン・インターネットの利用や健康づくりに関する質問をお伺いします。



3. 【12月中旬頃】会場調査にご来場の上、体力測定等へご協力ください。



- 身体機能・筋肉量・口腔機能などを測定し、後日個人結果をお返します。



4. 【会場調査後】スマートウォッチとアンクルバンドの配布説明会へご参加ください。



- 3ヶ月間以上、できる限り1年間のご着用をお願いいたします。
- スマートフォンをお持ちの方は、専用のアプリで様々な健康情報をご覧いただくことができます。
- スマートフォンをお持ちでない方には、月に1度、計測したデータをまとめた健康レポートを郵送いたします。

お申込み方法

電話またはFAX、どちらかの方法にてお申込みください。

募集期間：2022年8月30日(火)～10月7日(金)

募集期間終了前に申込者が多数となった場合は、参加をお断りする可能性もございます。

申込先(電話)



本ご案内に関するご不明点など、お問合せも下記の専用ダイヤルへご連絡ください。

本研究専用ダイヤル：**080-9102-6387** (東京都健康長寿医療センター研究所)
平日 (※土日祝日を除く) 10:00～17:00

申込先(FAX)



FAXでお申込みをいただく場合は、下記をご記入の上、こちらの面をFAXしてください。

FAX送付先：**03-3964-2316** (東京都健康長寿医療センター研究所)

氏名 (ふりがな)	
住所	〒
電話番号	